

NO.420

平成 25 年度
三田市人権ポスター入賞作品



富士小学校 3 年 やまもと まさと
山本 聖人 さん

人権さんだ

人権さんだは、みなさんに人権に関する気づきや情報などをお届けします。新たな発見や共感したことなどを含めてご意見、ご感想を人権推進課までお寄せください。問い合わせ＝まちづくり部人権推進課 (559-5081・5148 FAX563-3611 e メールアドレス jinken_u@city.sanda.lg.jp)

もってみよう
認める勇気と
許せる心

広野小学校 6 年
なかむら もなみ
中村 萌波 さん

平成 25 年度
三田市人権標語入賞作品

わたし 私たちにもできる多文化共生とは

三田市には平成 26 年 1 月末現在 979 人の外国籍の人が暮らしています。国籍や民族の異なる人々が互いの文化的違いを認め合い、対等な関係でそれぞれの能力を発揮しながら共に生きていくことは、とても大切なことです。

三田市では外国の人たちと共に生きていくために、『三田マダン』や『フレンドシップデイインサング』などの文化的な交流を行っています。今回は、『フレンドシップデイインサング』で発表をされた中学生の張悠さんの作文と、お父さんの張守斌さんの話から、私たちにできる多文化共生について考えてみましょう。

あなたはどの国が好きですか

けやき台中学校 2 年 張悠さん

こんにちは。私はけやき台中学校 2 年の張悠です。「あなたはどの国が好きですか」これが私の発表テーマです。皆さんはどうですか？

三田生まれ、三田育ちでしたら、「三田が好きやで！」と、思われるのではないのでしょうか。私も、育ってきた三田が大好きです。でも、国というと、話が長くなります。

楽しく勉強したい人は、カナダが好きになるでしょう。中国の教育方法はカナダ、日本とはまた違います。夏休みに、中国で英語の塾に行きました。塾の授業や宿題は日本の英語教室よりきつかったです。授業の最終日に、全員で郊外の山奥の訓練キャンプに行つて、サバイバル訓練を受けました。あの訓練は、高いところにあつて、しかも間が途切れている橋を渡るというものでした。もちろん命綱はついていましたが、橋と橋の間隔が広くて、度胸を試される訓練でした。怖くて泣き止まない子もいましたが、指導の先生は、妥協を許しませんでした。訓練の反省会で、先生が四川省の震災で鉛筆を握つたまま亡くなっていた子どもの写真を見せてくれました。あの最後の最後までこの子は勉強しようとしていました。あなたたちの親は毎日一生懸命働いてあなたたちを養っています。親の努力を無駄にしないように、この子のように勉強に励まなければいけません。」と言われたのが今でも記憶に残っています。中国の教育は、「家族など、自分のためががんばっている人々に感謝し、その努力を無駄にしないように勉強に励む」ということが中心で厳しいものです。この時、私はまだ小学 4 年生だったので何も考えずに聞いていましたが、今改めて考えてみると、理にかなった言葉だなと思いました。

私は日本生まれ日本育ちですが国籍は中国です。親戚や友だちが沢山中国に住んでいます。一方、おじいちゃんやおばあちゃん、いとこたちがカナダに住んでいて、毎年、夏休みは中国やカナダに行き来しています。旅行先でいろんな人に出会って、ほとんどの人に「どの国が一番好きですか」と聞かれます。カナダに住んでいるおじいちゃんおばあちゃんには「カナダがいいね」と言います。そして、中国に住んでいるおじいちゃんおばあちゃんには「中国がいいね」と言います。そうしたら、両方のおじいちゃん、おばあちゃんから沢山の小遣いがもらえるの

私は、学校でテニス部に所属しています。今年の夏は、カナダに行つてテニスのサマーキャンプに参加してきました。感想を一言で言うと、「楽しかった」です。カナダの先生は丁度よい指導で、楽しく、かつ、技術も上達させ、沢山ほめてくださいました。私はバックハンドが苦手でも打てなかつたのですが、ようやく打てた時に「ナイスボール」と言ってくださいました。サマーキャンプの最終日はみんなでパーベキューをしました。「物事を楽しいと感じさせ、ほめて伸ばす」というのがカナダの教育の仕方だと感じました。

張守斌さんの話

日本にきた理由

1996 年、私は留学生として日本にきました。当時、日本は技術や経済において世界をリードしていました。私はアメリカか日本かという選択肢の中で、日本に来ると大きな将来が見える可能性があるかと思いい日本を選びました。

三田に住んだ理由

勤めている会社は三田に工場があり、開発した技術を製造に活かしたいと思い、希望して 2004 年の 2 月に三田にきました。

すずかけ台にある社宅に住み、三田が好きになりました。しばらくして、家を買おうと思いい、西宮や宝塚も調べましたが、「やっぱり三田がいい」と思いい、社宅の近くに家を買つて住みました。

住んで思うこと

三田と言えば、まずは、「山と水」です。大きい山ではない、人が住んでいるニュータウンの山というイメージが強いですが、中国にある私の故郷の街は、平坦な所で、遠くには山が見えませんが、現在私が住んでいるニュータウンは、ロマンチックな所で、きれいに設計され、自然と調和していると思いいます。環境も整備できていて、三田市の看板に『花と緑と水のまち』と描いてあるすてきな所です。



▲張悠さん